

教育研究データ			
1. 氏名	浴野 雅子		
2. 生年月	1964年7月		
3. 取得学位	文学修士		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2015年4月	① 講義中に学生同士の討論をいれて、全体の集約や共有を講義に生かす。	
	2015年4月	② 学生の授業外における学習促進の取り組み。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2008年10月	① 中学校教員対象に第18回広島県中学校特別研究大会で「青年期の心的発達と集団による育成」について、記念講演を行った。	
	2015年7月	② 本学主催平成27年度教員免許状更新講習で「子どもの適切な指導」について講義を行った。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の年月	発行所
① 心理学への扉	共著	2006年4月	北大路書房
② 困った人々	共著	2010年11月	あいり出版
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の年月	掲載紙および巻/号, 頁
① 臨床心理士と教員を兼務することの意義と問題点	単著	2001年3月	『広島文教女子大学教育相談センター』第8号, 55-66
② 青年期に被虐待の体験を語る場としての学生相談	単著	2006年2月	『広島文教女子大学学生相談室報告書』第2号, 22-26
③ 乳幼児からの心の成り立ちと娘—母親関係	単著	2007年8月	『広島文教女子大学学生相談室報告書』第3号, 12-15
④ 教育と臨床の狭間にある学生相談	単著	2011年1月	『広島文教女子大学学生相談室報告書』第4号, 1-7
⑤ 現代の父親についての臨床心理学的一考察	単著	2013年12月	『広島文教女子大学紀要』第48巻, 29-36
(3) 研究・作品発表	発表の年月	発表学会等	
① 父親との補足的ナルチストで生き	2005年10月		

てきた対人不安をもつ中年女性との15年間の終結事例		日本心理臨床学会第24回大会
② 母子並行面接で親自身の過去を扱う意義	2012年9月	日本心理臨床学会第31回大会
(4) 所属学会		
① 日本心理臨床学会		
② 日本精神分析学会		
③ 日本教育心理学会		